

◆体験記(就職)

【日本道路株式会社】国際ビジネス科 林 快誠

『感謝』

私は、野球がやりたいという思いで愛知商業に入学しました。高校生活では、文武両道を自分の目標とし取り組んでいました。しかし、中学では習うことのなかった簿記や情報処理の勉強にとっても苦労しました。そんな時、ある先生に「勉強に手を抜く生徒は、部活でも結果が出せない」と言われ、今まで以上に必死に勉強するようになり、そこから徐々に成績も上がっていきました。私が進路を決定したのは、3年生になってからです。それは、野球部の部長になってからの経験がありました。部長になり、チームをまとめることで話す力、周りを見る力、自分で考えて行動する力を身につけることができ、この能力を社会に出て生かしたいと思ったのがきっかけでした。夏休みは、面接や履歴書に多くの時間がかかりました。

私の就職したところは愛知商業から初めてだったため、とても不安な気持ちがありました。しかし、先生方にたくさん面接練習をしていただき、自信をもって就職試験を受けることができたため、無事に内定をいただけることができました。

愛知商業には、勉強、部活に打ち込める環境があると思います。ですが、それを生かすのも生かさないのも自分次第です。もう一度、自分の行動を見直して、周りへの感謝を忘れずに残りの学校生活を過ごしてください。

【トーエネックサービス株式会社】情報処理科 蜜澤裕汰

『「努力は必ず報われる」と信じて』

私は、小さい頃から高校卒業後は就職すると決めていました。私は、進路を決めるときに選択肢をたくさん得るために勉強を頑張りました。テスト勉強は、自分が納得するまで何回も何回も繰り返して高得点を取るために努力しました。一年生のときから積み重ねていった結果、上位で企業を選択することができました。しかし、明確にこの企業に入りたいというのはなかったもので、企業を選ぶのに毎日悩んでいました。私は後悔のない決断をしたかったので、就職選考会の前日まで悩んだ結果、希望の企業を選ぶことができました。面接指導では、たくさんの先生方に指導していただきました。厳しいことを言われることもありました。私はコミュニケーションをとるのが苦手だったので、面接指導は苦痛でした。しかし、いろんな先生方に「自分が変わらないと何も変わらない」と言われたときに、どうしたら変わるのかということを考えるようになりました。インターネットで面接のことを調べたり、慣れるために何回も練習したりしました。私が変わろうと思えたのは、自分の選んだ企業に入りたいという気持ちが、自分を奮い立たせてくれたからだと思います。就職試験では、自分の持っている力は全て出せました。

4月からは社会人になります。今まで愛知商業高等学校で教わった挨拶の大切さ、愛商生としてのプライドを忘れずに頑張っていきます。そして、家族や先生方、支えてくださったたくさんの方に感謝をし、恩を返していきたいです。

【日本通運株式会社 名古屋国際輸送支店】経理科 丹羽 彩華

『報われた努力、そして…』

私は、中学生の時から「就職」という目標を掲げていたので、多くの資格取得ができ、就職に有利な愛知商業高校に入学しました。

私は、「就職をしたい」というただ漠然とした考えしかなく、具体的に何をしたいのかということも分からないまま三年生を迎えました。三年生になって焦り始めた私は、学校に残って求人票を一気にチェックしました。そのときに生まれた思いは、「小売業の経理事務をやりたい」でした。しかし、夏休み中の進路相談会でこの思いは薄れ、「都会ではなく、地元で働きたい」と強く思うようになりました。私の家族全員が物流業務に携わった経験があるため、私も物流業務に携わり、物流について学んでみたくなりました。そこで、物流業界のトップクラスである日本通運に勤めれば、物流の多くのことを学べて楽しそうだと思い、日本通運を志望しました。内定通知が届いた時には、今までの努力が本当に報われたようでとても幸せに感じました。私は、その日まで心の支えになってくれた家族や友人、先生方にとっても感謝をしています。

私は、高校でテストや資格取得の勉強に力を注いできました。資格取得・テストと行事が重なる期間はあまりにハードで、嫌に思うことも多々ありましたが、「就職」という目標と周囲の支えのおかげで今日まで頑張ることができました。卒業後は、「社会人になっても日々勉強」という思いを忘れずに頑張っていきたいです。

【東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部】情報処理科 堀部 汐里

『自分の意志を貫くこと』

私は、中学3年生のときから今の進路先を目標とし、愛知商業で学んできました。私が進路について動き始めたのは、2年生の3学期からです。2月に、鉄道セミナーに参加するための申し込みがありました。月に1回ずつあるのですが、このセミナーに参加したことにより、より多くの情報が手に入ったと思います。

そして、3年生になってすぐに学校内の説明会や面談がありました。ここで、自分が受けるだけの力があることを、先生に示すことが大変でした。自分の意志とその会社の強みを理解して話す必要があり、前もって文章を考えて覚えていくより、その場で先生に思っていることを伝えた方が伝わりやすかったです。これは、就職試験も同じでした。その場で相手の思っていることを理解し、自分の考えを言わなければならないからです。普段から人とたくさん話すことで、この力は身につくと思います。

私は、今まで目標に向かって努力してきました。ただ、実際には、高校に入ってから進路を決める人の方が多いように思います。進路が決まっていなくても、今の自分にできることと将来につなげるために必要なことを、常に考えて行動することが大切だと思います。

今まで多くの人に支えてもらい、お世話になりました。これからは、人の役に立つこの仕事で、多くの支えとなれるように努力していきたいと思います。

◆体験記(進学)

【法政大学 キャリアデザイン学部】国際ビジネス科 平手 琴乃

『進路実現に向けて』

私は、商業高校の進路先の幅広さに魅力を感じ、就職・進学共に高い実績を誇る愛知商業に入学しました。そして、将来は日本と海外との架け橋になりたいと考え、商業科目だけでなく外国語の習得にも力を入れて取り組んできました。

私が、進路選択をする上で大きな転機となったのは、2年生の夏休みに高校生外交官として訪れた米国での経験でした。このプログラムの中で、ハーレム地区の児童施設に通う子どもたちと交流する機会があり、彼らの「勉強したくてもできない」という言葉に強い衝撃を受けました。学ぶ意欲をもった子どもたちが生育環境に左右され、十分な教育を受けられない現状に問題意識を感じたことで、人生における教育の役割について学びたいと考えるようになりました。また、3年生の夏には中国の教育現場を視察し、教育格差を目の当たりにしたことで、自分の進路選択へのビジョンを明確にすることができました。

私は、高校での様々な経験を通して自らの目標を見つけました。新しいことに挑戦するのは勇気が要りますが、一歩踏み出すことで、自分の可能性を大きく広げることができると思っています。皆さんには、自分を信じて何事にも積極的にチャレンジして欲しいです。

私は春から法政大学に進学し、東京での新たな生活をスタートさせます。進路実現に向けては、たくさんの方々に支えていただきました。その感謝の気持ちを忘れず、自らの目標に向けて努力を続けていきます。

【中央大学 商学部】情報処理科 大西 克弥

『いつかのための努力を』

私には、日本経済の基盤を築き、経済活動を支え発展させることができる公認会計士になるという夢があります。私はこの夢を実現させるための進路選択を行いました。

公認会計士に必要な会計の知識や、コンサルティング業務に必要な経営や経済全般の知識、またグローバル化がめざましく進む現代で必要とされている英語などの語学能力は、私の夢を実現させ、今後活躍していくために必要不可欠な要素だと考えています。そのため、これらのことを深く学ぶことができる中央大学へ進学することを決めました。

私が、この夢を抱き始めたのは二年生の頃でした。それ以前までは、将来の夢や進みたい道、やってみたいことがわからず、この先の進路を見出すことができずにいました。しかし、目標や夢がなくとも、後悔する結果で終わりとたくないと強く思い、今自分が何をやるべきかを考え行動に移してきました。その結果、志望していた進路を実現できたと思っています。

私が、今の進路を実現させることができたのは、家族や友人、先生方の協力や応援があったからだと思います。学校生活の中で様々なサポートをしてくださった先生方、日々切磋琢磨し互いに努力してきた友人、ここまで育ててくれた家族に感謝をしながら、大学で大きく成長して、夢を実現させるためにより一層、努力し続けたいと思います。

【名古屋短期大学 保育科】国際ビジネス科 高桑 亜里

『挑戦することの大切さ』

私は、将来保育士になりたいという夢があります。中学三年生の時の担任の先生の妹が、愛知商業から保育の大学に進学したということを知り、私もそうしようと愛知商業高校に進学しました。

私は、自分が行きたい大学に進学できるように勉強も頑張りました。一年生の頃は、自分に合った勉強の仕方がわからず、考査ではあまりいい結果を残すことができませんでした。しかし、二年生になり、勉強の仕方を工夫することで成績を上げることができました。また、資格取得にも力を入れ、積極的に検定を受け、様々な資格を取得することができました。

高校生活では、たくさんの人とコミュニケーションをとることを心掛けました。部活を通して募金活動に参加したり、東区のボランティア活動に参加したり、校外の活動をすることによって、自身のコミュニケーション力を向上することができました。また、自分の視野を広げるために、オーストラリアでホームステイを経験しました。オーストラリアの人は、日本人とは考え方や価値観が異なり、それが私にはとても新鮮に映りました。この経験は私にとっていい刺激になりました。

私は、この三年間で挑戦することの大切さを学びました。この学びを活かして、自分の夢が実現できるように一層努力していきたいです。

【公立瀬戸旭看護専門学校 看護学科】事務科 黒原 亜優

『進路変更』

私は卒業後、公立瀬戸旭看護専門学校に進学することになりました。高校入学時は就職希望でした。中学生の進路選択のときに、早く自立がしたいと思い愛知商業を選びました。しかし、高校一年の時に初めて入院をしました。それをきっかけに、私の夢は変わりました。私が入院して感じたことは、看護師の存在の大きさです。不安を感じていた時に優しく接してくれたり、同じ病室の方にも一人一人接し方を変えたりしている看護師さんの働く姿を、患者としての立場で見るととても憧れを持つようになり、自分の夢が変わっていきました。急な進路変更にも担任の先生は動じず、私の夢を応援してくれました。進学先を考えた時に、私の地元にも看護専門学校があることを知り、そこを志望することにしました。しかし、愛知商業は公立瀬戸旭看護専門学校の推薦はなく、担任の先生に相談したところ私のためにたくさん調べてくださり、医師会推薦があることを教えてくださいました。私は、学校推薦ではなく医師会推薦で行くことを決めました。

高校三年間で様々な出来事があり、たくさんの経験をする中で自分の考えが大きく変わることもあると思います。高校卒業後の進路選択は、自分の将来を大きく変えるものです。悔いが残らないように“今”を大切に生活してみてください。そうすればきっと、自分の進みたい道に進むことができると思います。